

# 職員の声

## 兵庫県立尼崎総合医療センター薬剤部

兵庫県立尼崎総合医療センターは阪神地域の中核病院として、様々な分野で高度な専門医療を担っています。薬剤師は、調剤業務や薬剤管理指導業務（病棟業務）、チーム医療などを通して患者さんに安全で安心な質の高い薬物療法の提供をめざし日々の業務に取り組んでいます。

今回は、当院の糖尿病教室や糖尿病教育入院における取り組みについてご紹介します。



### 【糖尿病教室】

当院では、糖尿病教育入院や外来患者さん向けに糖尿病教室を実施しています。薬剤師のほか、医師、看護師、管理栄養士、臨床検査技師等の専門スタッフが病態や合併症の説明、食事療法、運動療法、薬物療法の講義を行います。薬剤師は、経口血糖降下薬やインスリン注射の種類と特徴、アドヒアランス低下に繋がらないよう副作用、低血糖の症状例や対処法についてお話しています。また、院内で開催される「世界糖尿病 DAY」開催時にブースを出展し、ポスター掲示や相談対応、アンケート調査を行い、患者さんの薬に対する理解の向上につながるよう取り組んでいます。現在は、COVID-19の影響により外来向けのイベントは開催出来ていませんが、生活習慣の改善及びアドヒアランス向上により糖尿病合併症の発症を予防できるよう再開される日を心待ちにしています。



（セミナーの様子）



（世界糖尿病 DAY にて来場者へ配布したカード）



兵庫県立病院には5つの総合病院と5つの専門病院があります。それぞれの病院には特色があり、薬剤師としての専門性を生かして成長できる環境があります。みなさんも県職員の一員となり、私たちと一緒に兵庫県立病院で働いてみませんか？

# 職員の声

## 兵庫県立西宮病院 薬剤部

兵庫県立西宮病院は、救命救急センター、腎移植センターなどを併設した総合的な診療機能を有し、高度先進医療を行う地域の中核病院です。薬剤師はチーム医療に参加しており、NST、褥瘡、心不全、ICT、AST、緩和ケア、糖尿病教室、腎臓病教室、骨粗鬆症対策などで、患者さんに安全で適切な薬物療法が行われるよう取り組んでいます。今回は、当院の糖尿病教室における取り組みについてご紹介します。



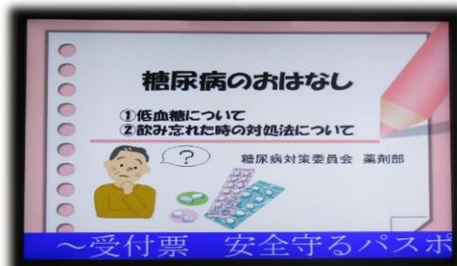
### 糖尿病教室



当院では、糖尿病教育入院患者に対し糖尿病教室を開催しています。教室では、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師等の専門スタッフが、病状の説明や食事療法、運動療法、薬物療法のお話をしています。

薬剤師の講義では、糖尿病薬やインスリン注射の種類や特徴、副作用、低血糖の症状やその対処法について、お話しています。お薬の種類に該当する薬剤の写真を示すことで、患者さん自身が使用されているお薬の注意点を理解しやすいよう工夫しています。

最近では、COVID-19の影響により、外来で行う糖尿病セミナーの開催は見合わせていますが、内科外来前に設置されたモニターにスライドを流すことで、少しでも糖尿病治療について知っていただけるような取り組みを行っています。



兵庫県立病院は、専門病院から総合病院まで病院ごとに特色が異なるため、様々な経験を積み薬剤師として専門性を活かして成長できる環境となっています。みなさんも県職員の一員となり、私たちと一緒に県立病院で働いてみませんか？



©兵庫県 2007



©兵庫県 2007

# 職員の声：加古川医療センター 薬剤部

当院は、28 の診療科・353 床を有する東播磨の地域の基幹病院です。現在は、兵庫県の新型コロナウイルス感染症拠点病院でもあり、薬剤師も NST(栄養サポートチーム)、AST(抗菌薬適正使用支援チーム)や ICT(院内感染対策チーム)、サポーターケアチーム、糖尿病チームなど様々なチームでの活動を続けています。

私は、NST や AST・ICT、サポーターケアチームの一員として活動しており、令和 2 年に「NST 専門療法士」という資格を取得しました。今回は、NST について紹介します。

## NST とは？

栄養状態が悪いと傷の治りが悪くなったり、病気の治療にも影響するため、入院患者さんの栄養管理はとても重要です。NST は栄養管理を専門とするチームで、当院では医師、管理栄養士、薬剤師、看護師、言語聴覚士、臨床検査技師でラウンドやカンファレンスを行っています。カンファレンスでは患者さんの食事状況と必要栄養量の確認を行います。そして、病棟ラウンドにて実際にスタッフや患者さんから食事や栄養剤の摂取状況などを聞き取り、嚥下機能や嗜好に合わせて、少しでも食べやすい食事の調整や食事量や種類の提案を行っています。



## NST での薬剤師の役割

### ①経静脈注射または経腸栄養剤の提案

長期間食事摂取ができないときに、点滴や鼻などから管を入れて栄養を取ることがあります。

点滴や栄養剤にも様々な種類があるため、患者さんに合わせた点滴や栄養剤の選択し提案しています。

### ②食品の経腸栄養剤との相互作用の確認

栄養剤の中には胃酸でゲル状に変化するようなものもあります。そのような栄養剤を使用している時に胃酸の分泌を抑えるような薬を使っていないか等を確認します。

### ③排便コントロールの確認

下痢であれば下痢止め・整腸剤の提案や便秘に対して下剤の提案を行ったり、下痢や便秘の原因になるような薬剤を使用していないかの確認などを行っています。また、下痢の原因になる薬剤の一覧も薬剤部で作成しています。

### ④その他

嚥下機能に影響を与える薬剤の使用がないかの確認、薬剤による微量元素などの補給の提案やその効果の確認なども行っています。



## NST 専門療法士とは？

管理栄養士、薬剤師、看護師、臨床検査技師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士などの医療職種で静脈栄養・経腸栄養を用いた臨床栄養学に関する優れた知識と技能をもっているスタッフのことを言います。

NST 専門療法士になるには認定試験に合格する必要があります。認定試験は、40 時間の栄養に関する研修など決められた研修を受講し、一定期間それぞれの職種として働き、栄養サポートに関する経験を持つ場合に受けることができます。

★栄養はとても身近なことであると同時に、とても重要なことです。退院した後もしっかり栄養をとってもらえるように多職種で関わっています。

県立病院全体では総合病医院から専門病院まであり、様々な経験を積むことができます。皆さんもぜひ私たちと一緒に働いてみませんか？



## 職員の声

### 兵庫県立ひょうごこころの医療センター

当センターは兵庫県下唯一の公立単科精神科病院であり、県内の精神科医療の基幹的役割を担っています。精神科救急医療センター、アルコール依存症、児童・児童思春期センター、認知症疾患医療センターを設置し、子供から成人、ご高齢の方まで全ての世代を対象にした様々な精神疾患に対応しています。今回は当センターでのアルコール依存症病棟での薬剤師業務をご紹介します。

#### ◆薬剤管理指導業務◆

入院時服用中の薬剤指導だけではなく、断酒の3本柱（通院・自助グループ・抗酒剤）である抗酒剤についても服薬の有無に関わらず医師からの依頼で説明を行っております。抗酒剤・断酒補助薬を正しく内服してもらうため、薬剤の説明や副作用のモニタリングのみにとどまらず、患者にとって適切な薬剤かどうかということも判断することが重要です。抗酒剤に抵抗がある患者に対しては治療共同体として一緒に考え、医師・看護師や他のスタッフと密に情報共有を行っています。



#### ◆多職種カンファレンス◆

毎週水曜日の15:15～入院30日を経過した患者2、3名を対象に多職種カンファレンスを実施しています。多職種カンファレンスは、関係職種全員で患者情報を共有することでより確かな治療方針や副作用情報を把握することができる貴重な機会です。薬剤師は薬物療法の専門家として積極的に参加し発信しています。

#### ◆お薬教室◆

アルコール依存症回復プログラム（ARP）の一環として、薬剤師が「お薬教室」を2か月に1回、90分開催しています。

ほかには患者家族向けの家族教室、外来患者向け教室（apple）で30分の講義を行っています。



兵庫県立病院全体では総合病院から専門病院まで様々な経験を積み成長できる環境があります。皆さんも是非私たちと一緒に働いてみませんか。



# 職員の声

## 県立こども病院 薬剤部



当院は総合周産期母子医療センター、小児救命救急センター、小児がん医療センター、小児心臓センターを有する周産期・小児医療の総合施設として、高度専門医療を提供しています。

当院薬剤部では調剤業務、病棟業務をはじめ、チーム医療や患者向け教室にも積極的に参加し、患者さんの薬物治療に関わっています。



今年度より小児集中治療室(PICU)と新生児集中治療室(NICU)での病棟業務が開始しました。今回はその業務内容を紹介します。

### <小児集中治療室(PICU)>

PICUでは朝のカンファレンスに参加し医師や看護師等と情報共有を行っています。業務内容としては、注射薬の混注業務、処方量確認、配合変化を含む投与ルート・速度のチェック、検査値の確認、バンコマイシンなど抗菌薬のTDMに基づく推奨投与量や採血タイミングの提案をしています。PICUでは内科系、外科系を問わず、呼吸や循環、中枢神経や代謝などの重篤な急性機能不全に陥った患児が多いため、日々変わる患児の病状に迅速に対応できるように努めています。

### <新生児集中治療室(NICU)>

NICUでは注射薬の調製、ルートチェック、投与量チェック、ストック薬の確認作業、麻薬返却の対応を主に行っています。ルートチェックでは、投与すべき薬剤のルートのクランプが開けられているか、遮光が必要な薬剤が正しく遮光されているか、脂肪乳剤の投与ルートの位置及びフィルターの有無などを確認しています。また、医師・看護師からの質問にも随時対応しています。今後はNICUに頻用される薬剤を対象とした配合変化表やフィルター通過性に関する資料等を作成し、より円滑な病棟業務の実施につなげていきたいです。

現在、薬剤師の業務は多岐に渡ります。兵庫県には総合病院だけでなくこども病院のような専門病院もあり、薬剤師として専門性を発揮し成長できる環境が整っています。また様々な学会や研修に参加する機会があり、多くの人と交流し情報を共有することができます。みなさんも是非、私たちと一緒に県立病院で働いてみませんか？



## 職員の声

兵庫県立姫路循環器病センター 薬剤部



兵庫県立姫路循環器病センターは、循環器疾患、脳血管疾患、神経疾患、糖尿病を中心とした疾患を有する患者さんに先進的な高度医療を提供しています。今回は、当センターにおける薬剤師の業務についてご紹介します。



### ●調剤業務・病棟業務

当センターの調剤室では、処方された薬剤の調剤及び鑑査、外来患者さんへの薬剤の交付、入院患者さんの持参薬鑑別、治験薬や抗がん剤の調製、薬剤の在庫管理及び発注等を主に行っています。安全かつスムーズに、安定した薬剤の供給ができるよう努めています。

病棟では、患者さんの処方薬剤について服薬指導を行い、その際に聞き取った内容や検査値のモニタリング結果、持参薬の服薬状況などを医師にフィードバックし、処方の提案等を行います。

### ●ASTへの参加

患者さんの治療には、多職種連携によるチーム医療が欠かせません。当センターにおいても薬剤師が様々なチーム医療に参加しています。今回は私が参加している抗菌薬適正使用チーム（AST）について紹介します。ASTは感染症治療のモニタリング、抗菌薬の適正使用に関する評価、教育、啓発などを行っています。その中で薬剤師は、広域抗菌薬等を使用している症例について感染症内科医と検討するカンファレンスを定期的実施し、主治医に抗菌薬の用法、用量、中止、変更の提案を行っています。また、院内における抗菌薬の使用量の調査や特定抗菌薬の使用届の管理等も行っています。さらに、抗菌薬適正使用支援加算の要件の一つである、「抗菌薬適正使用の教育、啓発」として院内における研修資料を作成し適正使用の推進に努めています。感染症治療では抗菌薬は欠かせないものであり、その点において薬剤師は中心となって活躍できるため、非常にやりがいを感じています。また、昨今、COVID-19治療薬が臨床現場で使用されていますが、それらの在庫管理、発注も薬剤師の仕事の一つです。COVID-19治療薬は他の薬と違い国が供給を管理しているものが多くあります。患者さんの治療になくならないものであり、在庫管理を行うにあたってその責任を強く感じながら行っています。このように、チーム医療の一員として様々な業務を経験できることも、病院薬剤師の魅力の一つです。

### ●兵庫県立はりま姫路総合医療センターについて

当センターは製鉄記念広畑病院と統合し、「兵庫県立はりま姫路総合医療センター」として2022年5月に開院を予定しています。私は薬剤師1年目の新人ですが、当センターでの1年は様々な新しいことに触れる非常に充実したものでした。新病院では病床数や診療科数が大幅に増え、これまで以上に多岐にわたる業務を経験することになると思います。その中で、薬剤師として日々新たな知識を身に付け、医療に貢献できるよう成長していきたいと思っています。

兵庫県は総合病院から専門病院まで様々な県立病院があります。特色の異なる様々な環境で、多くを経験し成長することができます。皆さんも県職員の一員となり、ぜひ私たちと一緒に働いてみませんか？